

日本共産党県議会議員

見える  
身近な  
みんなの県政を

# みわ由美 ホット通信

第8号 2009年9月25日  
日本共産党みわ由美事務所  
Tel 047-349-1544 Fax 047-349-2293  
〒270-2252 松戸市千駄堀1810-2  
HP「みわ由美笑顔通信」  
<http://www.miwa-3838.jp/>  
携帯 <http://www.just.st/306410/>

看護師不足で  
病棟(35床)閉鎖

公立も

医師・看護師・病床不足... まつどの  
**安心してできる医療に**

民間も

2病院が突然閉鎖!?



東葛で1台だけ  
小児救急ドクターカー



赤ちゃんの命綱  
24時間小児医療センター



今松戸を含む東葛北部地域は、国基準より120床も不足。公立の松戸市立病院も一部病棟閉鎖です。国・県・市に働きかけ、解決に全力をあげます。



松戸の医療確保を知事に要望するみわ県議らと党松戸市議団

《いのちを守る最後の砦》松戸市立病院の充実を

お元気でしか

暮らしの**SOS**受けとめ  
皆様の笑顔のために**走ります**

「派遣村と同じよ」相談がいっぱいです。千葉県最低賃金は年収131万円余。生活保護基準より安いなんて!時給1千円以上は急務です。

「年寄り差別しないで」の訴え  
**常盤平・五香商店街で**  
みわ「他の先進国では医療費(窓口負担)は無料:」  
女性「まあ、日本もお願いしたいわ」みわ「高速道路完全無料より、命最優先です。ね。頑張ります」



1日2千人が訪れる  
**松戸ハローワーク前**  
失業中の若い  
女性からの訴え



松戸市議団 (伊藤余一郎、中村たか子、うつの史行、高橋たえこ、高木 健)

県会議員  
みわ由美

お困りごと何でも相談

市議団控室 366-7403  
みわ事務所 349-1544



# 不正5年で30億円 許せません徹底究明 再発防止を



不正経理問題で調査する県議団

日本共産党千葉県議団の「不正経理問題の徹底究明と再発防止を求める声明」の要旨は次の通りです。

不正経理は、組織的かつ長期にわたり、県庁全体に及んでいる。今回の調査対象は、03年度から07年度の消

現在の会計処理システム、

## 県トップの責任は重大 二度と隠蔽は許されぬ

9月18日の  
県議会全員協議会  
重要である。

会  
員要  
求  
百  
条  
設  
置  
を  
求  
め  
る  
に  
は  
、  
県  
議  
会  
の  
負  
任  
に  
応  
え  
る  
に  
全  
力  
を  
あ  
げ  
る  
。

ムも抜本的に見直すべきである。

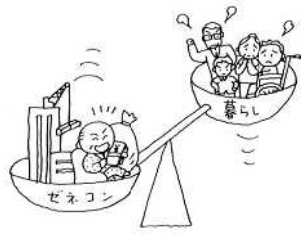
証人喚問など強力な調査権限をもつ「百条調査委員会」の設置をはじめとして、他の党派とも共同・協力しながら徹底究明と再発防止に全力をあげる。



1997年に、手口や使い道まで詳らかにした、県庁職員からの内部告発にもとづき、直後の県議会調査を拒否した。このときに行われた不正経理は防げたかも

## 12年前の内部告発 調査を県は拒否

りの実態調査を求めました。沼田知事は「誰から聞いたのかかわりません。県職員の調査を拒否した。このときに行われた不正経理は防げたかも



八ツ場

# ダム中止で 急げ 生活再建 暮らし・福祉・教育 最優先に！

現地リポート  
みわ県議

## ムダ遣いの一方で 県立学校の校舎は荒れ放題



2000年に一度あるかどうかの大雨を想定した治水計画、現在でも給水対象地域は水余りだという現実を無視した

治水・利水面でも  
**ムダ**

私たち日本共産党は当初から、八ツ場ダムの建設中止を求めてきました。今回の総選挙で示された民意は、ムダな公共事業はやめよというものでし

「ムダ遣いやめて」が  
**民意**



学校というのは「建築後20年たてば、大規模改修の計画の対象とする。かつては本県もそうしていたが、今はできていない……」と口ごもる千葉県。「建築後30数年たっても、いまだに大規模改修されない県立高校があちこちにある」と悲鳴が寄せられている。

外壁や天井が剥がれ落ち

そうした学校の一つを見学。出入り口の天井が剥がれ落ちる寸前。落下の危険も。原因は雨漏り。職員の事故回避の日頃の努力は大変なものだ。

**改修して！**

## 学校から聞こえる声は

**クーラーをつけて！**



暑い扇風機の前で、ショックで座り込むみわ県議——松戸秋山高校音楽室

保護者に負担しろとは！

「真夏、音楽室締め切り、倒れそう」という県立松戸秋山高校。ここでは、近隣の住居に配慮して、真夏でも、窓を閉め切り、アイスノンを貼って練習する。この実情にも、県は「クーラー設置は保護者負担で」と、にべもない回答。



総事業費と各県負担金など、金利を含めて総額が9千億円弱にもなることも。この事業計画は57年の間に、くり返し見直しされ、工期も度々延長されました。その間、地域住民は生活不安や収入減少をもたらされ、将来設計も立てられないのでした。

続行で更に膨らむ  
**事業費**

「建設中止に住民が反発」「予算の7割も使っ



八ツ場の現地を視察するみわ県議

ている工事の中止こそムダ」などというマスコミもあります。しかし事業の進捗状況を見れば、「ダム本体工事はこれから」「地滑り対策も不十分」などで建設費も工期も今後さらに膨らむ公算も強く、巨大な「ムダな」ダムになることは必至です。

みわ県議に訴え  
**「孫たちが帰れる村に……」**

現地視察のとき、吾妻溪谷の住民の方が「下流では、水は、ダムは要らないんでしょ

う。だったら、孫たちが戻れる村にしてくれば……」と訴えました。ダム計画に、長年翻弄されつづけた傷は深いのです。国の責任で、現地住民の苦しみを償い、生活再建を保障すべきです。なによりも今必要なことは、放置されてきた道路や代替地の整備を早急に進め、ダムがなくても地域が生活できるような基盤を作る施策の実行です。



閉店のご挨拶

大変申し訳ないお願いをさせて頂いて誠に有難うございました。非常にご迷惑であり、また大変申し訳なくお詫言わせておきますが本年11月1日をもって閉店させていただきます。ご挨拶とさせていただきます。みわ